

事務事業名		中心市街地活性化推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり						担当係	まちなか活性化係	担当課長名	越石 彰	
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備						新規事業・継続事業	継続事業			
	基本事業	1 計画的な中心市街地活性化の推進						実施計画事業・一般事業	実施計画事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	11444	一般	8	4	1	中心市街地活性化推進事業						
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	20年度～ 年度		根拠法令 条例等	中心市街地の活性化に関する法律、佐野市まちなか活性化推進協議会規約					
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業					
						任意的事業・義務的事業	任意的事業					
						実施方法	一部委託					
						事業分類	その他市民に対する事業					
						リーディングプロジェクト	該当なし					
						市長マニフェスト	3-1					

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)					
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地の活性化策を講じるために必要な調査・研究、資料の作成を行う。具体的には、歩行者通行量調査及び空き店舗調査を年1回行い、データをまとめる。 中心市街地の活性化を推進するため、佐野市まちなか活性化推進協議会に対して、交付金の交付や事務局を担うことで運営支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者通行量調査や空き店舗調査等を実施した。また、佐野市まちなか活性化推進協議会に対して、交付金の交付、事務局を担うことで、運営を支援した。 中心市街地活性化基本計画を推進するため庁内推進会議を開催した。(10月) 					
活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
歩行者通行量調査・空き店舗調査回数	回	2	2	2		
佐野市まちなか活性化推進協議会の会議等開催回数	回	2	3	3		
交付対象団体	佐野市まちなか活性化推進協議会					

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

中心市街地区域	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	中心市街地活性化計画区域面積	ha	165	165	165		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

中心市街地の現状を把握するとともに、活性化に向けた検討を行い、中心市街地の活性化を推進する。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	歩行者通行量(平日・中心市街地の5か所)	人	5,276	5,742	5,400		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

地域の特性を活かした事業展開や基盤整備を進めることにより、魅力的なにぎわいのある中心市街地を創出する。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	まちなかが以前に比べて便利になったと思う市民の割合	%	25.9	25.9	29.0	30.0	31.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	2,386	885	738					
	事業費計(A)	千円	2,386	885	738	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	9	消耗品	8	消耗品	10		
			業務委託料	377	業務委託料	377	業務委託料	278		
交付金			2,000	交付金	500	交付金	450			
人件費	人	4	4	4						
のべ業務時間	時間	520	520	520						
人件費計(B)	千円	2,023	2,049	2,049	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,409	2,934	2,787	0	0				

事務事業名	中心市街地活性化推進事業	担当部	都市建設部	担当課	都市計画課	担当係	まちなか活性化係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	----------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	中心市街地活性化策を検討する上で必要となる基礎データを継続的に収集し調査研究するため、平成20年度から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	本市の中心市街地は、新都市などの郊外開発や自動車社会の影響により、人口減少や空き店舗増加といった空洞化が進んでいる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	中心市街地を活性化することは、佐野市全体の活性化に繋がることになるので、ぜひ活性化事業を推進してほしいとの要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	歩行者通行量調査の全面委託を推進する予定であったが、実質的なコスト削減につながらないため現状維持とした。また、まちなか活性化ビル集客事業実行委員会交付金について、3年間の周知活動を行い十分な成果を上げたので解散とした。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	中心市街地の現状に関する基礎資料等を収集・把握することや、中心市街地活性化推進のための事業を行う組織を支援することは、市民との協働による中心市街地の活性化を推進し、魅力的で住みやすい市街地とするという上位目的に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	「中心市街地の活性化に関する法律」第5条に、効果的に中心市街地の活性化を推進するよう所要の施策を策定し実施することが、地方公共団体の責務として定められている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業を行うことで、中心市街地の現状及び課題把握、基本計画に定める各種事業推進に貢献するため、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市民を中心とした組織である佐野市まちなか活性化推進協議会で、佐野市中心市街地活性化基本計画に定める事業の更なる推進を図ることが必要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	歩行者通行量調査について、現在、平日を佐野商工会議所、佐野市あそ商工会の協力を得ながら職員が実施しており、日曜日はシルバー人材センターに委託している。全面外部委託することを検討したが、コスト削減につながらないと判断し、現状維持としたため、今のところ事業費・人件費の削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	中心市街地の活性化は、人口減少社会における持続可能な都市づくりや自治体の財源確保の観点から、市民全体の利益として捉える必要があり、特定の受益者負担はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	中心市街地が活性化した状態(まちなか居住の促進、定住人口・来街者の増加など)になれば、事業終了することも可能である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①佐野市まちなか活性化推進協議会の事務局を市が担うのではなく、協議会独自で行っていただくか、商工関係団体で行うことなども検討する。 ②佐野市中心市街地活性化基本計画の未着手事業を洗い出し、推進協議会で協議し、意見をまとめる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>①②</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①②		維持			×	低下		×	×	今後の事務局運営に関し、佐野商工会議所と協議する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		①②																						
	維持			×																					
	低下		×	×																					